

美しい山・川・海 人が躍動する 交流と共生のまち

余部町合併
15周年
広報
ふるさと

香美

8

平成 22 年 (2010)

月号 No. 65

今月の主な内容 (Contents)

- 2 まちのうごき
ありがとう さようなら「余部鉄橋」
- 5 まちからのおしらせ
ふるさと納税
ごみと上手に付き合ってみませんか
役場各課などからのお知らせ ほか
- 14 まちのできごと
- 16 ふるさとの誇りを訪ねて
(別冊 けいじばん、いきいきカレンダー)



【写真】

—おつかれさまでした—

万感の想いを込めて余部鉄橋に献酒

(写真左から余部連合自治会 山本美津男会長、長瀬町長)

余部鉄橋

ともに歩んだ1世紀

今、あなたに「さようなら」

そして、本当に「ありがとう」

―平成22年7月16日―

あなたは多くの人に愛されました。そして今、その役割を終えて98年間の生涯に幕を降ろしました。

あなたは幾星霜の風雪に耐え、多くの人に思い出を与えてくれました。あなたのその朱色の体躯には、長年働き続けた職人の手のように無骨で、深いしわが刻まれています。

あなたが見守り続けた多くの人が、今、あなたのことを想います。



▲見上げれば、いつもそこにいた余部鉄橋

産声

人々の期待を受けて

東洋一の規模といわれた余部鉄橋が、その雄姿を谷間に見せたのは明治45年（1912年）1月13日。その建設は明治42年（1909年）12月から始まり、約2年の歳月と約33万円（当時）もの巨費、そして延べ25万人もの労力を費やし完成しました。

長さ309・42m、高さ41・45m。23連の橋桁を支える11本の橋脚は鉄骨をやぐら状に組み上げるトレススル式と呼ばれ、その威風堂々とした姿は地域の誇りでした。

「建設当時、ほとんどの住民が朝から晩まで13時間働いたが、誰一人文句を言わなかった。それほど鉄橋の完成を心待ちにしていた」。

今年7月4日に行われた「鉄橋を未来に語り継ぐ集い」（明日の余部を創る会主催）の座談会で、元国鉄職員で

余部鉄橋の語り部としてボランティアガイドを務めた山西岸夫さん（香住区西）は親から伝え聞いた話を披露しました。

当時は陸の孤島と言われた余部地区。完成した余部鉄橋は、余部地区とそこに住む人々が切望した「未来への架け橋」となりました。



▲建設途中の余部鉄橋（明治44年撮影）

日常

人々に愛されて

「真夏の酷暑、冬の吹雪など厳しい自然に耐える姿は、人生に似ている。その姿は愛おしかった」。

長年、ファインダー越しに余部鉄橋を見てきた写真愛好家の千崎密夫さん（香住区西）はこう語りながらも、まだ撮り尽くしていない余部鉄橋に名残惜しさを感じていると、その胸中を明かしてくれました。

また、余部鉄橋のはしごなどを遊具代わりにしていた岡本重利さん（香住区浜）。余部鉄橋の下に落ちているリベットを鉄くず屋であめ玉と交換するなど、「そこにあることが当たり前」だった子ども時代を語りました。

多くの人にさまざまな表情を見せてくれた余部鉄橋。しかし、その裏で人知れず闘う人々がいました。



▲四季折々、人々の営みを見守った余部鉄橋

三方を山に囲まれ、直下に日本海を臨むその特有の環境にあって、潮風による腐食との闘いは余部鉄橋の命をつなぐために必要不可欠なものでした。

完成から3年が経った大正4年（1915年）、腐食防止のための塗装工事が開始。大正6年（1917年）には専属の橋梁守が配置され、昭和40年（1965年）まで塗装や骨材の交換・補修が行われてきました。

そのような闘いとともに、日常、いつも傍らにいた余部鉄橋。「四季折々、感動を与えてもらいました」と語る山崎つるみさん（香住区西）。

「穏やかな自然と溶け合い、優しい気持ちにさせてくれました。つらいときも悲しいときも、空を見上げて力をもらいました」と余部鉄橋とともに過ごした日々を回想していました。

悲劇

人々の悲しみとともに

昭和61年（1986年）12月28日、午後1時25分頃、人々が新年に備えて年末の慌ただしさに追われているなか、その悲劇が起きました。

香住駅から浜坂駅に回送中のお座敷列車「みやび」の客車7両が、日本海から吹き付ける瞬間最大風速33m/秒の突風にさらわれて転落。このうち1両が直下の水産加工場を直撃。工場で働く従業員5人と同列車の車掌1人の尊い命が犠牲になり、また6人が重軽傷を負いました。

事故で犠牲となった方々の冥福を祈るとともに、「二度とこのような事故を繰り返してはならない」との誓いの象徴として、昭和63年（1988年）10月23日、事故現場に6人の名前を刻

惜別

人々の思い出のなかに

「子どものころから慣れ親しんだ余部鉄橋がなくなるのは本当に残念。しかし安全で安心な橋に生まれかわるためにはやむを得ない」。

事故で妻を亡くされた余部鉄橋事故遺族連絡会の岡本倫明会長（香住区近）は、今年7月16日に行われた「余部鉄橋に心から感謝する惜別の儀式」（余部連合自治会主催）で余部鉄橋を見上

んだ慰霊碑が建立されました。

以降、毎年12月28日に遺族や関係者などが鎮魂の黙とうをささげ、犠牲者を悼んでいます。

この事故をきっかけに運行基準は見直され、列車規制風速は25m/秒から20m/秒に強化されました。しかし、これにより列車の遅延や運休が相次ぎ、「安全運行」と「定時性の確保」が喫緊の課題として浮き彫りになりました。



▲余部鉄橋直下にある慰霊碑（平成19年5月撮影）

げ最期の姿を目に焼き付けていました。1世紀に渡り、地域輸送を支え続けた余部鉄橋。列車転落事故の後、平成3年（1991年）に「余部鉄橋対策協議会」が設立され、安全性と定時性の確保をいかに行うべきか検討が重ねられた結果、平成14年7月にコンクリート橋（エクストラードーズDPCラーメン橋）への架け替えが決定。

人々の生活を見守り続けてきた余部鉄橋でしたが、新橋建設工事が着手され、残された日々が刻まれることになりました。

谷間の空に翼を広げた、まるで大ワシのようなその雄姿をファインダーに収めようと、全国から多くの鉄道ファンが訪れ、その数は日増しに増加。さまざまなイベントなど通して、その存在は、人々の目に耳にそして胸のなかに刻み込まれていきました。

そして迎えた「最期の日」。

多くの人を見守り続け、そして多くの人に愛された余部鉄橋に対して、余部連合自治会の山本美津男会長（香住区西）は声を詰まらせながら感謝と別れの言葉を静かに告げました。

「ついに最期の別れの日となった。生まれたときから、そこにあるのが当たり前だった鉄橋。」

楽しかったこと、うれしかったこと、悲しいこと、つらいこと。

鉄橋は、いつも頑張れよと励ましてくれた『父や母のような存在』だった。日本一の鉄橋として余部地区民の誇りであったが、今、その役目を終えることになった。

本当にさみしく、悲しく、つらい。

しかしこれも仕方がない。

心から感謝して、

『さようなら余部鉄橋、ありがとう余部鉄橋』と伝えたい」

ガタン、ゴトン、ガタン、ゴトン…。列車が通過するたびに谷間に響き渡っていたあなたの鼓動を、もう聞くことはありません。

そして、あなたの朱色の巨体は徐々に見えなくなっていくます。

しかし、空の駅として残される3本の橋脚がいつまでもその偉大さを人々に思い起こさせることでしょう。

餘部駅が開設された翌年、昭和35年（1960年）に作られた地元余部小学校歌（山田勢威一 作詞、海老京一作曲）の2番にこうあります。

緑の谷にそびえ立つ

鉄をくみたる橋の塔

希望はもゆるあけくれを

誓いもうれし新らしき

はばたく明日をのぞみつ

ああ余部のわれらいま

今も、そしてこれからもこの校歌は

歌い継がれていきます。

余部の谷に響く子どもたちの元気な声とともに…



▲静かに交代を待つ余部鉄橋（写真左）と新橋（写真右）
（今年5月3日撮影）



▲解体される余部鉄橋の橋桁（今年7月17日深夜撮影）



▼撤去される余部鉄橋の橋桁（今年7月17日撮影）



皆さんの力が「ふるさと香美」を育てます

ふるさと納税制度のご紹介

●問い合わせ（申し込み）先 役場総務課

香美町ご出身の方をはじめ、全国から「ふるさと香美町づくり」に多くのご協力をいただき、心から感謝いたします。

平成21年度の寄付金概要は、平成20年度に比べ件数で184件、金額で287万円増加しました。

寄付金は町の基金に積み立て、ご寄付いただいた方々のご意向に沿うようまちづくりに役立てていく予定です。

今年度も引き続き実施しています。ふるさと香美町に特別な想いをお持ちの皆さまをはじめ、香美町の施策や取り組みにご賛同いただける皆さまからの温かいご支援をお待ちしております。

◇寄付の方法

電話などでご連絡いただければ、町から「納付書」などの関係書類をお送りします。

◇住民税・所得税の控除

寄付をしていただいた額のうち5千円を超える分が住民税・所得税から控除されます。

◇町からのお礼

「ふるさと納税制度」により1万円以上寄付をしていただいた方には、町内の豊かな自然が育んだ特産品（5千円相当）をお贈りさせていただきます。



▲子どもたちの笑顔あふれるまちづくりのために
(6月6日、絶景香住海岸ジオパークウォーキング)

平成21年度の使途別の寄付金額など

番号	項 目	主な使途	件 数	金 額
①	将来を担う小・中学生の調和のとれた教育の推進と教育環境の整備	自然学校、ふるさと教育、トライやる・ウィークなどの実施	342 件	785 万円
②	多彩な資源を生かして観光対策の推進を図る事業	観光資源のPR、但馬牛食まつり、香住ふるさとまつりなどの実施	185 件	776 万円
③	山と海との特色ある産業の振興を図る事業	地産地消の推進、魚食普及、水産加工業などの支援	220 件	292 万円
④	活力ある福祉社会の創造を図る事業	子育て支援、地域見守り活動などの支援、妊婦検診支援、出産祝金の支給など	76 件	150 万円
⑤	町民と行政が一体となったまちづくり運動の推進を図る事業	花フェスタ、あいさつ運動などの実施、歴史文化講座、まちづくり活動などの支援	39 件	59 万円
⑥	幹線交通ネットワークの整備促進を図る事業	町道の新設、改良など	37 件	91 万円
合 計		—	899 件	2,153 万円

※件数は複数の使途事業を希望された人もあり、実際の寄附件数とは一致しません。



おめでとうございます

ご長寿のお祝い

●問い合わせ先

役場福祉課、各地域局健康福祉課

88歳を迎えられる町民の方々に
対し、次のとおり長寿のお祝いを
します。

対象者には、事前にご連絡し、
ご自宅を訪問させていただきます。
(手続きなどは不要)

◇対象

今年9月15日現在で、満88歳(大
正10年9月17日から大正11年9月
16日までの生まれ)で、町内に10
年以上お住まいの人

◇お祝いの時期

9月(高齢者保健福祉月間中)

◇お祝い品

お祝い状と粗品





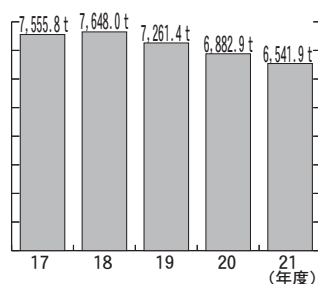
ごみ

決してなくならない！
それなら、もう少しだけ
上手に付き合ってみませんか？

●問い合わせ先 役場町民課

ごみの種類別の割合は…
昨年度、レインボーに持ち込まれたごみの種類別の割合

＜図1＞ごみ総量の推移



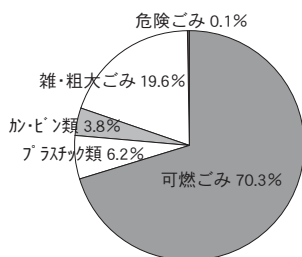
ごみの総量は…
ごみ処理施設「矢田川レインボー」（レインボー）に持ち込まれるごみの量は、最近5年間で平成18年度をピークに減少しており、昨年度は6,541.9t（平成18年度対比85.5%）でした（図1）。

町内の現状は…

限りある資源を効率的に利用・再生産して、持続可能な形で循環させながら利用していく。そんな循環型のまちを目指し、町ではごみの適正な分別や資源ごみ回収などを行い、ごみの「減量化」と「再資源化」に取り組んできました。しかし、今の生活スタイルを維持していこうとする限り、ごみが消えてなくなることはありません。そこで、さらなる取り組みの強化と効果的な施策を着実に行うことが求められています。

資源ごみの状況は…
資源ごみの回収量は年々減少しています（図3）。レインボーに持ち込まれるごみのうち、資源化が可能なアルミ缶や鉄くず、ペットボトルなどを選別、回収したものは昨年度は4,056tでした（選別処理）。

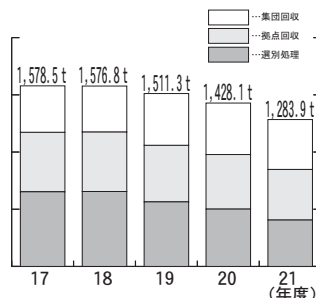
＜図2＞種類別の割合



は、可燃ごみが全体の70.3%を占めています（図2）。

ごみ処理にかかる経費は…
レインボーでのごみ処理手数料や資源ごみの売却代、またごみ指定袋の売払い代などを合計した、昨年度の町全体のごみ関係の収入は約700万円でした。それに対し、ごみの収集運搬やごみ処理にかかる経費を合計した支出は約2億2000万円でした。

＜図3＞資源ごみの回収量の推移



ごみステーションなどの指定場所に出された資源ごみ（新聞、雑誌、ダンボールなどの古紙やアルミ缶など）では、昨年度4,423tが回収されました（拠点回収）。また、PTAや婦人会など各種団体が自主活動で回収した資源ごみ（古紙やアルミ缶、ビン類、布類）は、昨年度4,361tでした（集団回収）。



▲分ければ「資源」

なぜ古紙の分別？
資源循環型のまちを目指し、町では今年4月から古紙の分別回収の徹底を図っています。

レインボーに持ち込まれるごみのうち、約7割を占める可燃ごみ。この中には、古紙のうち「その他紙類」に分類される紙箱、紙袋、包装紙など（下表）が多く含まれています。そして、それらは可燃ごみとして燃やされ、大切な資源が無駄に捨てられています。

町民の皆さんや事業者などに古紙を分別して資源ごみとして出していただくことで、ごみの減量化と再資源化を図ることができます。

古紙の分別回収にご協力を！

またこうして生まれた資源ごみを売却し、ごみ処理にかかる財政負担を軽減することも可能です。

古紙の分け方は…

今年3月に全戸配付した「古紙の分け方・出し方（保存版）」をご覧ください、分別回収にご協力ください。

なお、お手元がない人は役場または各地域局でお受け取りください。また、町ホームページ（<http://www.town.nikata-kami.lg.jp/>）でも入手できます。



古紙の分け方・出し方一覧

区 分		種 類	備 考
新 聞		新聞、折込チラシ	※分け方・出し方は香住区・小代区と村岡区では若干異なります。詳しくは各戸に配付した「古紙の分け方・出し方（保存版）」をご確認ください。
雑 誌		雑誌、本、パンフレット、カタログ、教科書など	
ダンボール		ダンボール	
紙パック		牛乳パック、ジュースのパック（500ml 以上）	
※まとめて紙袋などに入れて出しましょう	紙箱類	菓子箱、靴箱、衣類箱、ティッシュの箱、薬の紙箱、ラップの紙箱、タバコの箱など	※収集日はごみカレンダーをご確認ください。（村岡区では今年4月から町でも資源ごみの回収を行っています）
	紙袋類	紙製の菓子袋、箸袋、薬の紙袋、デパート等の紙袋、ワイシャツ等の台紙 など	
	包装類	お菓子の包紙（ビニールや銀紙以外）、ギフト品の包装紙、のし紙 など	
	紙パック類	ジュース類の紙パック（500ml 未満）	
	その他	封筒、はがき（圧着はがきは除く）、コピー用紙、メモ用紙、カレンダー、学校などのプリント類、トイレトペーパーの芯、ラップの芯 など	
出せないもの		レシートなどの感熱紙、カーボン紙、インクジェット紙、圧着はがき、写真、写真用プリント紙、金色・銀色の紙、ティッシュペーパー、キッチンペーパー、防水加工された紙コップやヨーグルトなどの紙カップ など	

ごみの減量化を強力に推進

香美町ごみ減量化推進会議が始動

町民の皆さんや事業者などと協力してごみの減量や再資源化を推進しようと、町では「香美町ごみ減量化推進会議」を立ち上げました。

第1回となった6月23日、各区の自治会や婦人会、また町保健衛生推進協議会、町観光連絡協議会、町いずみ会から同会議委員に推薦された15人に、長瀬町長から委嘱状を交付。会長に藤澤昌彦さん（小代区水間）、副会長には徳田喜代子さん（香住区香住）が選出されました。

今後は1年間かけて、ごみの減量や再資源化への取り組み、またその啓発方法などを協議します。

特に、ごみ全体の約7割を占める可燃ごみのうち、その約3割に当たる家庭や民宿などから排出される生ごみに着目、減量化について意見を集約して町のごみ施策へ提言する予定としています。



▲町担当者からごみ処理状況などについて説明を受ける委員ら（6月23日、役場本庁舎）

けんこう広場

毎日体重計に乗って、適正体重を維持しよう！



～目に見える目標で健康づくりを～

●問い合わせ先 役場健康課・各地域局健康福祉課

県上位にある肥満児割合

町内小学生に占める肥満児の割合は8・6％で、県平均の7・0％を上回っています。特に、中度肥満児は県下4位、高度肥満児は県下3位です。

県平均を超える成人肥満者割合

町内成人の肥満者割合は21・9％で県平均の19・1％を上回っています。そのうち男性は24・1％で、約4人に1人が肥満です。

また、腹囲が正常範囲（男性85cm、女性90cm）を超えている人の割合も27・7％で県平均の25・4％を上回っており、特に男性は45・4％と約2人に1人の割合です。

適正体重を計算してみよう！

目安となる適正体重は次により計算できます。

適正体重(kg)＝身長(m)×身長(m)×22



日本脳炎の予防接種について

従来使用されていた日本脳炎ワクチンは、接種後の重症な健康被害が国に報告されたため、平成17年5月以降、町では接種の積極的な勧奨を差し控えてきました。

その後、平成21年6月から新たなワクチン「乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン」の使用が可能となり、第1期（生後6ヵ月から7歳6ヵ月未満）の対象児のうち希望者に対して接種が行われてきました。

このたび、このワクチンの安全性がさらに確立し、安定供給が可能になったとの判断から、今年4月1日以降、第1期対象児のうち3歳児に対する接種を積極的に勧奨するとの通知が国から出されました。

町ではこの通知を受け、3歳児への接種の積極的勧奨を行うこととし、その保護者に対して個別に接種案内を行う予定です。

なお、3歳児以外の第1期対象児をお持ちの保護者には案内を行いません。接種を希望される場合は役場健康課または地域局健康福祉課へお問い合わせください。

体重を正しく量るコツ

- ・ 次のようなことに気を付けて体重計に正しく乗りましょう。
 - ・ 体重計は、生活の中で目につき、すぐ使える場所に置く
 - ・ 体重は、毎日同じ時間、環境で量る（起床後、トイレのあとが正確です）
 - ・ 体重を正確に、詳しく記録する
- ※体重や健康状態の記録表を役場または各地域局で配布しています。

食生活改善のためのコツ

- ・ 毎日の体重を記録しながら、次のような食生活の改善を行い、適正体重を目指しましょう。
 - ・ 理想の自分を思い描き、具体的な目標を立てる
 - ・ 食事は「もう少し食べたい」というところでやめる
 - ・ 間食や午後9時以降の夜食を控える
 - ・ 食事は、ゆっくりかんで食べる
- （満腹感は食後20分過ぎてから）
- ・ 油料理は控えめに、低カロリーで満腹感が得られる食事（野菜、こんにゃく、海藻など）をとる
 - ・ アルコールの飲みすぎに注意する
 - ・ 食事日記をつける
 - ・ （食べた量や内容、時間、場所など）無理なくできる、自分にあった運動を取り入れる

町健康増進計画では「適正体重の維持」を目標の一つとしていますが、肥満児や肥満者はなかなか減少しません。そこで、今回は目に見えて体重を意識できる「体重計」を使った健康管理を提案します。さあ、この夏、あなたも減量にチャレンジしてみませんか。



みんな集まれ！

山陰海岸ジオパーク

山陰海岸ジオパークの取り組みなどを紹介している同コーナー。
今回は、山陰海岸ジオパークで初めてとなる民間の支援組織や
今後予定している取り組みをご紹介します。

「香住ファンクラブ」結成！

山陰海岸ジオパークを民間側から盛り上げようと、7月2日、「山陰海岸ジオパーク香住ファンクラブ」（今井 学会長、12人）が結成されました。

同クラブは「海岸植物が好きな人」、「ダイビングが好きな人」、「民宿経営者」や「ジオに興味を持ち始めた人」など、さまざまな町民の皆さんが集まっています。今後は、多方面にジオパークをPRし、その資源を生かしていく方法を検討すること。具体的にはジオパークガイドの育成や拠点施設（香美町海の文化館）の活用などのほか、会員同士が情報を共有し、ジオパークに関する知識をより深めていく予定です。



山陰海岸ジオパーク香住ファンクラブ
今井 学会長

皆さんは「ジオパーク」という言葉にどんなイメージをお持ちですか。何やら難しい話、自分には関係のない話、といった人がほとんどだと思えます。私も最初はそうでした。今も小難しい岩の名前を覚えるのは苦手です。

そんな私がジオパークに興味を持った理由は次のように教わったからです。「日本海形成が自分たちの暮らしにどう影響しているかを考えると面白い」、「自分の言葉でジオパークを語れるようになってほしい」など。

私は民宿を営んでいますが、香住の民宿と言え「カニ」です。なかでも「香住ガニ」と呼ばれているベニズワイガニが日本海の固有種であるということはご存じですか。

松葉ガニと呼ばれるズワイガニ（オピリオ種）は日本海、オホーツク海、カナ

ダなどで水揚げされますが、ベニズワイガニは日本海だけに生息しています。そして、ブランド化しているのは全国でも香住だけです。香住ガニは日本海形成に伴う山陰の「食」文化の一つなのです。これらは数多くあるジオストーリーのほんの一つに過ぎません。

難しい地質の話ではなく、ジオパークを自分の言葉で語れる人たちを増やすことがこのファンクラブの目的です。老若男女、幅広い世代が参加しています。ぜひ皆さんもお気軽にご参加ください。（問い合わせ先 今井 Tel 0796・39・4033）



▲ジオパークコーナーの展示方法などについて
活発な意見を交わすファンクラブ会員
（7月2日、香美町海の文化館）

ファンクラブ活動第1弾！

自然を身近に感じながら…

なぎさのアートフレームを作ろう！

海岸の漂着物を使って世界に一つだけのオリジナルアートフレーム（絵画や写真の額）を作ってみませんか。

今回の体験を通して、香住海岸ジオエリアの海辺のすばらしさを再確認し、自然と触れ合うことの楽しさや環境保護への関心を親子で深めてください。

当日は、海岸を歩いて、海辺にある植物や、海岸に漂着した貝殻、石、流木などを収集し、これらを使って作品を仕上げます（雨天時は漂着物の回収をせず、あらかじめ用意したものを使用します）。

◇とき

8月28日（土）午前9時～11時30分

◇ところ

香住区境「ミヨモン浜」、香美町海の文化館

◇参加できる人

小学1～3年生とその保護者

◇参加費

1組300円

◇募集人数

10組20人（定員に達し次第締め切り）

◇問い合わせ（申し込み）先

今井（Tel 0796・39・4033）

香美町海の文化館（Tel 0796・36・4671）





国民年金保険料の納付が困難なときにご利用ください 申請免除・若年者納付猶予制度

●問い合わせ先 役場町民課・各地域局健康福祉課
豊岡年金事務所 Tel 0796・22・0945

失業や所得の減少といった経済的な理由などで保険料の納付が困難な場合、全額または一部が免除される「申請免除制度」や、保険料の納付が猶予される「若年者納付猶予制度」（30歳未満の人が対象）があります。
申請は、役場または各地域局で随時受け付けています。

◇対象者

- 本人・配偶者・世帯主の全員が、①から⑤のいずれかの要件に該当する人（若年者納付猶予については世帯主の要件は除く）
- ① 前年所得が少ない人
 - ② 平成21年4月以降に失業・倒産・事業の廃止などがあった人
 - ③ 障害者または寡婦であって、前年所得が125万円以下の人
 - ④ 生活保護法による生活扶助以外の扶助を受けている人
 - ⑤ 特別障害給付金を受けている人

◇対象となる所得の目安（下表のとおり）
所得額は、社会保険料控除などを考慮したおおよその目安です。ただし、全額免除、若年者納付猶予の場合は、下表の額が基準となります。

●対象となる所得の目安一覧

区 分	単身世帯	2人世帯 (夫婦のみ)	4人世帯 (夫婦+子2人)
全額免除 若年者納付猶予	57万円	92万円	162万円
一 部 免 除	4分の3免除	93万円	142万円
	半額免除	141万円	195万円
	4分の1免除	189万円	247万円

◇注意

一部免除は、必ず残りの保険料の納付が必要です（納付がない場合は、「未納扱い」となります）。
免除および若年者納付猶予の承認期間は7月から翌年6月までとなります。
免除または若年者納付猶予が平成21年度承認済みで、引き続き希望される場合は早めに申請手続きを行ってください。



仕事と家庭の両立を目指して 育児・介護休業法が改正

●問い合わせ先 役場観光商工課

改正された「育児・介護休業法」が6月30日から施行されました。
この法律は育児や介護を行う労働者の仕事と家庭の両立を推進するものです。

◇改正のポイント



少子化の流れを変え、男女ともに子育てや介護をしながら働き続けることができるよう、主に次の4項目が改正されました。
詳しくは厚生労働省ホームページ（<http://www.mhlw.go.jp>）をご覧ください。

① 父親の育児休業の取得促進

- ・ 父母ともに育児休業を取得する場合、休業可能期間が1歳2カ月（改正前1歳）まで延長されました。
- ・ 配偶者の出産後8週間以内に父親が育児休業を取得した場合は、再度の取得が可能となりました。
- ・ 配偶者が専業主婦（夫）や育児休業中でも、育児休暇の取得が可能となりました。

② 子育て期間中の制度の義務化

3歳までの子を養育する労働者の短時間勤務制度（1日6時間）と所定外労働（残業）の免除が事業主の義務になりました。

③ 子の看護休暇制度の拡充

小学校就学前の子が1人いれば年5日、2人以上いれば年10日取れるようになりました。

④ 介護休暇の新設

要介護状態の対象家族が1人いれば年5日、2人以上いれば年10日取れるようになりました。

※②、④は常時100人以下の労働者を雇用する企業に限り、平成24年7月1日から施行されます。



ありがとうございます

感謝状を贈りました

6月23日に香住区守柄で発生した行方不明者の捜索活動への協力に対して、守柄区に長瀬町長から感謝状を贈りました。



▲感謝状を贈呈される守柄区長 山田啓治さん

みなさんに



にじゅうまる

おめでとうございます

町内から表彰受賞者がありました

(順不同・敬称略)

人権擁護委員法務大臣表彰

石部 賢應 (香住区小原)

全国人権擁護委員連合会長表彰

田中 基彦 (村岡区村岡)

近畿人権擁護委員連合会長表彰

松岡 泰子 (村岡区入江)

兵庫県社会教育委員協議会表彰

石井 清一 (村岡区川会)



募金などへのご協力ありがとうございました

第33回

香住ふるさとまつり



香住区内の各世帯にお願いしました住民協賛金と当日、広く呼びかけた募金の総額は、3,046,209 円でした。また、花火大会終了後の清掃ボランティアにも多数のご尽力をいただきました。

多くの皆様にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

●問い合わせ先 第33回香住ふるさとまつり総合委員会
(役場観光商工課内)

緑の募金



今年度の緑の募金は、町全体で 1,415,269 円となりました。多くの皆様にご協力いただき、誠にありがとうございました。

この募金は、森林整備をはじめ森林ボランティアの活動支援や町、集落、学校の緑化活動など、緑豊かな個性ある町づくりに役立てる計画となっています。

なお、緑化事業をご希望の集落はご相談ください。

●問い合わせ先 役場農林水産課



運転免許を返納して「お得なサービス」を！ 高齢者運転免許自主返納サポート制度

●問い合わせ先 役場町民課

県では、高齢者の死亡事故率が高いことから、高齢者運転免許自主返納サポート協議会を設立しました。バス会社や温泉施設などの協議会加盟団体が使用料金を減額するなどの特典を設けることで、高齢者（65歳以上）が運転免許を自主的に返納しやすい環境づくりに取り組んでいます。

自主返納した人は、「運転経歴証明書」を窓口などで提示することにより、下表の特典を受けることができます。

なお、「運転経歴証明書」は、運転免許センターまたは県内各警察署、警部派出所で交付手続きができます。また、町も5月1日に協議会に加盟し、本制度を推進しています。

●協議会加盟企業・団体と特典内容（町内分のみ）

加盟企業・団体	特典内容	問い合わせ先 (電話番号)
全但バス株式会社	路線バス半額 (町民バス含む)	079・662・2131
かすみ・矢田川温泉	入浴料 600 円→ 400 円	0796・37・1126
ハチ北温泉 湯治の郷	入浴料 600 円→ 400 円	0796・96・1666
村岡温泉	入浴料 500 円→ 400 円	0796・98・1512

◆お詫びと訂正◆

広報「ふるさと香美」第 64 号（平成 22 年 7 月号）の記事に、以下のとおり誤りがありました。

関係者のみなさまには大変ご迷惑をおかけいたしましたことをお詫びして、訂正いたします。

- ・ 16 ページ（裏表紙）の「ふるさとの誇りを訪ねて」の記事のうち、訓谷磨崖仏の位置図の中に、「久斗」とありますが、正しくは「九斗」でした。

―編集後記―

多くの人々のさまざまな想いが染み込んだ余部鉄橋。解体の様子をカメラに収めようと、撤去された橋桁の近くでその表面を見ると、サビと繰り返し塗り塗られた塗装で、場所によっては倍近くの厚みになっていると思われる場所も。その姿に思わず声が出ました。

「長い間、本当にお疲れさま。ゆっくり休んでください」

（みうら）

文芸かみ

真砂俳句会 七月句会より

部屋ごとの青葉あかりや応挙寺

砕石場の男の友情風薫る

面影は野良着の母や茄子の花

尾根からの海は半円青岬

菖蒲湯出て少年少し大人びぬ

有田 美代子

岡田 美佐子

小川 サヨ子

川端 静子

小柴 光代

廃村に木地師の秘話や夏薊

菩提寺の一木一草風涼し

梅雨寒の老いや余儀なく米研いで

菩提寺の千年守る樟若葉

最終列車の余部鉄橋夏の風

駒居 君香

高橋 二三子

竹内 よね子

谷脇 政江

長扶 微子

村おこしの堤に草文字梅雨の雲

父の日や上座も下座もなく集い

紫陽花の咲く頃峡の味噌まつり

紫陽花の咲く頃峡の味噌まつり

紫陽花の咲く頃峡の味噌まつり

長谷川 喜美

福田 恵津子

村瀬 美智子

◆定例会（香住文化会館）

4〜10月 毎月第一土曜日 午後1時〜4時
11〜3月 毎月第一火曜日 午後1時〜4時

※このコーナーでは、香美町文化協会所属の各団体の俳句・短歌を毎月掲載します。



こんにちは、赤ちゃん

この記事につきましては、関係者の皆さんにホームページ上での公開承諾を得ておりませんので、個人情報保護によりホームページ上での掲載を控えさせていただきます。

※このコーナーは、先月（6/21～7/21）の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。（届出順・敬称略）

お悔やみ申し上げます

この記事につきましては、関係者の皆さんにホームページ上での公開承諾を得ておりませんので、個人情報保護によりホームページ上での掲載を控えさせていただきます。

※このコーナーは、先月（6/21～7/21）の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。（届出順・敬称略）

求人情報

詳細はハローワークにおたずねください

（平成 22 年 7 月 17 日現在、順不同）

●問い合わせ先 ハローワーク香住

TEL 0796・36・0137

＜正社員＞				
職種	人数	年齢	勤務地など	事業所名
水産加工	1	64以下	香住区香住	㈱もりひろ商店
水産加工	1	35以下	香住区上計	カネサ水産㈱
製造包装	2	59以下	香住区七日市	㈱蔵平水産
水産加工	2	不問	香住区境	㈱ハマダセイ
行商販売人	1	不問	香住区香住	㈱日本海フーズ
薬剤師	1	59以下	香住区若松	日本調剤㈱大阪支店
配膳	1	不問	香住区七日市	磯の屋
調理師	1	25以下	香住区境	㈱香美町観光公社
フロント	1	不問	香住区香住	㈱三七十
調理（見習）	1	不問		
事務	1	不問		
接客	2	不問	香住区七日市	平和焼肉
電気工事士	1	59以下	香住区間室	㈱北近畿環境開発
機械加工	2	不問	村岡区村岡	㈱入江産業
看護師	2	62以下	村岡・小代区	社会福祉法人 みかたこぶしの里
営業	2	59以下	小代区城山	㈱出石モータース

＜正社員以外（パートなど）＞				
職種	人数	年齢	勤務地など	事業所名
水産加工	2	不問	香住区境	㈱山増水産
水産加工	5	不問	香住区上計	カネサ水産㈱
販売	1	不問	香住区香住	㈱ウエケイ
配膳	2	不問	香住区七日市	磯の屋
配膳	1	不問	香住区香住	香住観光旅館 丸世井
フロント	1	不問	香住区香住	㈱三七十
製造組立	3	45以下	村岡区村岡	エイワ電器㈱
レジ	2	不問	村岡区大糠	㈱ナカケー
調理補助	7	不問	村岡区大笹	㈱ニチレク お宿 ひさや
フロント	2	不問		
事務	3	不問		
ホール	2	不問		
調理	2	不問		
客室	5	不問		
接客	5	不問		
接客	1	不問	村岡区和池	リゾートヴィラハチ北
ガーデンテラススタッフ	1	不問	村岡区大笹	㈱やよい
ｽﾏｰﾚｼﾞﾔﾙ業務	2	不問		

新規学校卒業者に対する

求人情報を募集しています！

次代を担う人材の育成や就職希望者のキャリア形成などを社会全体で支えるため、ぜひ新規学校卒業者の求人情報をお寄せください。

兵庫労働局・ハローワーク豊岡



写真でつづる
まちのできごと

PhotoNews



悪質業者をみんなで追い出せ！

香美町消費生活講演会（7月15日、香住区中央公民館）

年々巧妙になる悪質商法。どうすれば被害に遭わないか、また被害に遭ったときどう対処すればいいかを一緒に学ぼうと行われた同講演会（真但馬生活科学センターと役場が共催）。この日は、しいの木学園の一般教養講座受講生など約100人が参加しました。

同センターの義本みどり消費生活相談員が「しまった、困った、その時は、消費者センターは生活のお医者さん」と題して講演。悪質業者とのやりとりやインターネットの出会い系サイトを使った不正請求などの被害を未然に防ぐ方法などについて、相談員としての経験をもとに分かりやすく説明。また、今年4月から役場で消費生活相談にあたっている磯田幸代相談員との寸劇に、会場からは笑い声も起きていました。

義本相談員は「消費者被害は『病気』のようなもの。一人で考え込まずに病院（同センター）や診療所（役場窓口）に気軽に相談してもらいたい。皆さんで協力して悪質業者を但馬から追い出し、元気なまちにしていきたい」と講演を締めくくっていました。

今年4月19日には「たじま消費者ホットライン」が開設。相談は無料で秘密は厳守されますので、契約、借金、不正請求などでお困りの人はどうぞご利用ください。

◇相談窓口

- ・ たじま消費者ホットライン
TEL 0796・23・1999
- ・ 役場消費生活相談窓口（町民課内）



▲講演を行う義本相談員



目指せ！「未来の地質博士」

遊覧船の体験乗船（7月17日、香住海岸）

子どもたちに山陰海岸ジオパークについて学んでもらい、ふるさと自慢ができるようになってもらおうと行われた遊覧船の体験乗船は、香美町ジオパーク推進協議会（清水浩仁会長、8団体）と遊覧船がすみ丸有限公司（山口都子社長、香住区一丁目）が企画したもの。

この日は、小学生以下は無料、中学生以上でも通常の半額とあって、町内の小学生以下31人を含み66人が乗船。午前9時30分に香住漁港東港の停泊場を出発し、赤松雅子船長から、「日本海や日本列島が地殻変動によって形成されその足跡が海から一望できる」などの説明を受けながら、天然記念物「鎧の袖」、インディアン横顔に見える「鷹の巣島（インディアン島）」などの名所や奇岩を約1時30分かけて巡りました。

船上から見える赤や茶色に染まる奇岩と青い空、そして深い紺色の日本海との美しいコントラストに、参加者からは感嘆の声が上がっていました。

今回、親子連れで参加した人は「普段、写真ではよく見ますが、実際に目の当たりにしたのは初めてです。町内にこんな素晴らしいところがあるとは思いませんでした」と興味深く海岸線に見入っていました。

山陰海岸ジオパークでは、今後多くの事業が予定されていますので、皆さんと一緒にジオパークを学び、活用していきたいでしょう。



▲船上から山陰海岸を望む参加者



ピーマンを倒して、たじまきやう但馬牛を手に入れる！

はっピーマンデーイベント（7月19日、道の駅村岡ファームガーデン）

今が旬のピーマンをPRしようと、海の日（7月の第3月曜日）に行われた同イベント。

このイベント名は、「ハッピー」と「ピーマン」、そして「マンデー」の3つの言葉を組み合わせで名付けられたもの。近年、町内での生産が拡大しているピーマンの栽培普及と販売促進を兼ねて、農産物直売グループ（小林正代表、82人）が企画、今年が2回目の開催です。イベントでは、輪ゴムをつけたピーマンを水槽に浮かべ、制限時間3分のうちに長さが約1mの釣りざおで釣り上げる「水浴びピーマンつり大会」が行われました。このつり大会では、釣り上げたピーマンが無料でプレゼントされるとあって、道の駅を訪れた多くの来場者が挑戦。真剣なまなざしで釣り糸の先に集中し、次々にピーマンを手にしていました。



▲ピーマンを並べる参加者（ピーマン倒し競争）

その後、恒例の「ピーマンドミノ倒し競争」がスタート。これは2人1組でチームを組み、包丁で半分に切ったピーマンをドミノのようにテーブルに並べ、その倒れた長さを競うもの。

45cmの記録で優勝した林英明さん、豊田倫久さんは「連休を使い、広島県から観光で訪れました。偶然立ち寄った道の駅でこんな楽しいイベントがあるとはい思いませんでした」と優勝商品の但馬牛1kgを手に入れしうに語ってくれました。



夏の風物詩、今年も盛大に！

第33回香住ふるさとまつり（7月24〜25日、しおかぜ香苑ほか）

昭和53年に始まった「香住ふるさとまつり」。33回目を迎えた今年も、日本海を鮮やかに染め上げる約2500発の海上花火大会をはじめ、さまざまなイベントが行われました。

7月24日、香住区の「しおかぜ香苑」でのオープニングイベントでは、出演者が多彩なステージを披露。よさこい踊りやサルサダンス、また県立高砂高校ジャズバンド部による演奏などで会場は祭りムード一色に。その後に行われた海上花火大会は、県下4大花火の一つに数えられ、その迫力と美しさに思わず息を飲むほど。夜空に色とりどりの大輪が咲いていました。



▲息を合わせてたらいを漕ぐ選手（7月25日、たらいこぎ大会）

昨日に引き続き晴天に恵まれた翌25日、香住浜付近の「うみのひろば」でたらいこぎ大会、子ども大会、フリーマーケットなどが行われました。

このうち、恒例の「たらいこぎ大会」は、2人1組で大きなたらいに乗り込み、海上に設定されたコース上でタイムを競うもの。参加者が優勝目指して必死でオールを漕ぐ姿に会場から大きな声援が飛んでいました。



▲オープニングイベントの様子（7月24日、しおかぜ香苑）



▲「芸踊り」を踊る子どもたち

ふるさとの想いをつなぐ「芸踊り」

◇問い合わせ先 町教育委員会社会教育課



役場各課など 主な施設の連絡先

役場本庁舎	36・1111
(代表)	
総務課	36・1111
企画課	36・1962
税務課	36・1113
会計課	36・4321
町民課	36・1110
健康課	36・1114
福祉課	36・1964
農林水産課	36・0846
観光商工課	36・3355
建設課	36・1961
上下水道課	36・0420
議会事務局	36・1963

村岡地域局	94・0321
(代表)	
小代地域局	97・3111
(代表)	
地域振興課	97・3370
健康福祉課	97・3375
農林建設課	97・3373

教育委員会	94・0101
香住分室	36・3764
小代分室	97・3966

公立香住病院	36・1166
公立村岡病院	94・0111
香住地域福祉センター	36・4345
香住老人福祉センター	36・5008
村岡老人福祉センター	98・1000
小代高齢者生活支援センター	97・2202

(全ての施設の市外局番: 0796)

まちのうごき
(平成22年7月1日現在)

合計	21,063人 (-16)
男	10,021人 (-3)
女	11,042人 (-13)
世帯数	6,905世帯 (-4)
カッコ内は前月比	

皆さん、「芸踊り」はご存じでしょうか。村岡、小代区の皆さんは子どもの頃から慣れ親しんだことでしょう。数ある町内の芸踊りのなかでも、今回は「相岡芸踊り」(昭和54年町指定文化財指定)をご紹介します。この芸踊りは、毎年8月のお盆の時期に行われる盆踊りの余興として行われます。歌舞伎の要素を取り入れたこの芸踊り。踊り手が化粧をしたり、男性が女装したりと会場を魅了します。始まったのは、歌舞伎が大眾芸能として発展した江戸時代中期から後期ではないかと考えられています。相岡の芸踊りは、ほかの地区で伝承されている芸踊りとは少し異なり、新温泉町の「丹土のはねそ踊り」(県指定文化財)に似ています。踊りでは、2、3人が一組となって踊り手となり、「カチ」と「ウケ」に分かれます。それぞれが刀や短刀、槍などの武具を手にして、拍子に合わせてカチがウケに切りかかり、ウケはそれを受けながら舞台を回ります。



▲▼「芸踊り」の練習風景



踊りには歌舞伎の名場面を題材にしたさまざまな「芸題」があります。その多くがあだ討ち物語の一場面で、相岡では「与市兵衛・定九郎」、「高田の馬場」などがあります。人々の思いとともに伝承されてきた芸踊り。真夏の夜、その一端に触れてみませんか。

のあだ討ち、「宮城野・信夫のあだ討ち」、「安達ヶ原の鬼婆」などがあります。戦時中、一時中断していた芸踊りですが、戦後に復活。しかし、高度経済成長に伴い、踊りの担い手である未婚の青年男子の多くが都市部へ流出してしまい、踊りが途絶えてしまいました。しかし、誇りあるふるさとの伝統文化を失ってはならないという地元の高い思いに支えられ、昭和50年代に再び復活し、その際に既婚の壮年男子まで年齢層を広げました。近年では3歳の幼児から芸踊りに参加しており、親子で芸踊りを伝え継いでいます。芸踊りの練習は、7月に入ってから週に1回程度行われ、本番までには6、7回程度練習を重ねます。今年は8月14日(土)、夜8時頃から相岡区公会堂前の広場で披露されます。また、8月21日(土)、午後6時30分から旧射添中学校のグラウンドで開催される「射添地区伝統芸能(盆踊り・芸踊り)大会」(射添を考える会 青壮年部主催)にも参加します。この大会では、射添地区で芸踊りを伝承している各地区が一堂に会し、踊りを披露します。